



**この夏、木星と土星を見よう！**

木星は7/14、土星は7/21に衝を迎え、この夏から年末にかけて長く楽しむことができます。今年は2つとも、いて座の領域に位置しており、ずいぶん近くでならんで光っています。

今の時期の木星の明るさは、何とマイナス2.7等級！とても明るいので、夜9時頃、南の空で一番目立っています。近くに光る土星は0等級で、どちらも少し黄色がかった色をしています。少しはなれたところには、さそり座の1等星アンタレスが赤く輝いていますので、ぜひ色味の違いも合わせて、ご覧ください。

なお、木星は望遠鏡で見ると、表面の茶色っぽいしま模様(右写真参照)がうっすら分かります。また木星のまわりをまわっている4つのガリレオ衛星も見ることができます(たまに衛星が木星本体の後ろにまわっていて、4つ全部見られないタイミングもあります)。土星は倍率30倍程度の望遠鏡でも環があることが分かります。どちらも見ごたえのある惑星ですので、機会があればぜひ、望遠鏡をご覧ください。



7月25日夜9時30分頃の空  
(ステラナビゲータ10で作図)



望遠鏡でとらえた木星  
(科学館50cm望遠鏡で撮影)

**ペルセウス座流星群が極大**

8月のお盆の頃に、ペルセウス座流星群が見られます。流星群とは、毎年決まった時期に夜空のある一点を中心に四方八方に流れ星が流れる現象です。今年は8月12日夜遅くから13日明け方に多くの流れ星が流れそうです。晴れたら、観察してみましよう。

**[こよみと天文現象]**

月	日	曜	主な天文現象など
7	17	金	明け方に月と金星がならぶ
	19	日	土用の入
			明け方の低空に月と水星がならぶ
	21	火	●新月(3時)/土星が衝
	22	水	大暑/水星が西方最大離角
	23	木	海の日
	24	金	スポーツの日
	25	土	月が最近(368,400km)
	27	月	●上弦(22時)
29	水	みずがめ座デルタ流星群が極大のころ	

月	日	曜	主な天文現象など
8	2	日	月と木星・土星がならぶ
	4	火	○満月(1時)
	7	金	立秋
	9	日	月が最遠(405,600km)
	10	月	山の日
	12	水	●下弦(2時)
	13	木	ペルセウス座流星群が極大(22時) 金星が西方最大離角

西野 藍子(科学館学芸員)